

4 児童館について

松島町では、児童館建設事業を計画・実施し、平成27年度から運営を開始します。児童館の他、留守家庭学級、子育て支援センター機能も保持し、松島町の子育て支援の中心的役割を持たせます。

年齢の異なる子どもたちが集う児童館は、遊びや学びの最適な場所となりうるものであり、乳幼児の親たちが安全で気軽に交流できる場として、子育てに対する不安や悩み、孤立感による育児ストレスを少しでも解消する役割を担うものです。さらに、震災後に少なくなってしまった遊びの場所として、児童館は復興への象徴となっていくことが期待されます。

子ども・子育て会議の中でも、児童館についての御意見をいただき、より良い運営のためにできる限り反映させていく予定です。

●課題とその整理

①のびのびと遊ぶ場所の充実

松島町では、震災後特に、子どもたちが自由に遊ぶ場所が不足していることから、気楽に立ち寄ることができ、仲間と集い遊ぶ場所を充実させる必要があります。また、災害や不審者などから子どもを守ることも大切であり、安全性を確保しつつ、のびのびと遊ぶ事ができる子どもの居場所の提供を行います。

②異年齢の子ども同士と一緒に遊ぶ機会の創出

家の中でテレビゲームなどにより一人で遊ぶ子どもが増えている中で、子ども同士のコミュニケーションを増やす工夫や年齢の異なる子どもが集まる場所を整備し、多くの子どもと一緒に遊ぶことができる機会を提供します。

③子育て相談場所の提供

子育て相談ができる場所や仲間を求める保護者のために、子育て情報を得ることができる、また、子育て中の保護者同士がコミュニケーションを取ることができる場所の提供が必要です。現在の子育て支援センターでの業務をなお充実させ、広く周知していきます。

④親子一緒に時間の提供

親子向けイベントを実施し、少なくなっていると言われる親子の時間を確保する支援を行います。特に、父親がより一層子育てに参加できるよう、休日開催のイベントも検討していきます。

⑤施設との連携強化

建設地には、中央公民館やBG体育館、中央グラウンドなど公共施設が集まります。利用者の利便性向上を図るため、他施設との連携を図って行きます。

子ども子育て会議での意見

- 児童館を作る際の課題は、子ども同士の触れ合い、子育てをしている大人の触れ合いの場の不足ということだろう。育児サークルの発足はこの具現化なのではないか。児童館を作るならば、安心して子どもを連れて来られたり、父が子どもと触れあえる場に。 などなど
-